

第2回草内地区認定こども園地元説明会議事録(要旨)

日時	令和8年2月21日(土)午後2時~4時
場所	社会福祉センター第1研修室
出席者	事業者：社会福祉法人美樹和会 藤原理事長 (株) モーダアーキテクト 村田建築士 タクミ建設(株) 山口代表取締役、亀坂氏 京田辺市：河本こども未来部長、内野副部長、 藤田保育幼稚園課長、釘本主幹、旗生係長、 吉田こども未来政策推進室係長
参加者	22名

1 あいさつ

河本こども未来部長からあいさつ

2 出席者紹介

藤田保育幼稚園課長から出席者紹介

3 草内地区認定こども園について

当日配布資料に基づき事業者から説明

4 主なご意見と回答

(1) 生活環境への影響について

Q1. 造成工事では周辺的生活環境への影響が大きかったと感じています。今後の工事では、同じことが起こらないよう配慮されるのでしょうか。

A1. 造成時に大型車両が頻繁に出入りし、住民の皆様の生活に大きな影響があったことを重く受け止めています。

また、進め方についても教訓として真摯に受け止めています。

今回の工事では、住民の皆様への影響ができるだけ生じないように、可能な限り対策を講じていきます。

Q2. 工事は土日祝日も行われるのでしょうか。また、大型車両の通行時間帯に配慮はあるのでしょうか。

A2. 工事については、一般的には土曜日に作業を行う場合があります。

また、工事車両の通行については、通学時間帯への配慮が必要であると

考えています。

Q 3. 生コンクリートの打設時には、どの程度の工事車両が通行する見込みですか。

A 3. 基礎コンクリートは最大で約 200 立方メートル程度を想定しています。

1 台あたり 4.5 立方メートル程度積載すると、多くても 50 台弱程度になる見込みです。

往復では、道路通過が 100 台程度になる可能性があります。

Q 4. 掘削土の搬出や湧水処理はどのように行うのでしょうか。

A 4. 掘削土の搬出は、1 日あたりおおむね 25 台程度を、1 週間から 8 日間程度見込んでいます。

湧水処理は、必要に応じてノッチタンク等に貯めてポンプで排水する方法を考えています。

排水は、放流基準を満たした上で適切に対応します。

Q 5. 工事予定について、現場前の掲示だけでなく、ホームページ等でも周知されるのでしょうか。

A 5. 現場前に工程を掲示する予定です。

あわせて、ホームページ等での公表についても検討していきます。

(2) 工事車両や粉じん対策について

Q 6. 違法駐車などがあつた際に工事関係車両と分かる表示はされますか。

A 6. 継続的に入る車両については、工事関係車両であることが分かる表示をします。

また、生コン車やダンプなど事前に把握できる車両については、表示を付けて入場するよう指導します。

毎回異なる車両についても、可能な限り事前把握に努めます。

Q 7. 工事車両の待機場所として想定している C の部分について、近隣への周知は行われますか。

A 7. 現時点では個別にお知らせしていませんが、工事着手前に改めて近隣の方へ周知したいと考えています。

Q 8. 工事車両は既存道路を通らずに出入りできるのでしょうか。

A 8. 私有地部分 6 メートルと既存道路 6.5 メートルを合わせ、全体で 12.5 メートル程度の幅員として考えています。

ただし、車両の種類によっては一部既存道路を使う可能性があるため、できるだけ使わずに済むよう再検討します。

Q 9. 工事車両の出入りによって道路に土砂が持ち出されないよう、どのような対策を行うのでしょうか。

A 9. 現時点でタイヤ洗浄機の設置は予定していませんが、高圧洗浄機をゲート付近に配置し、必要に応じて洗浄してから退出するようにします。

Q 10. 工事中の砂ぼこりや粉じんへの対策はどのように考えていますか。

A 10. 散水を基本的な対策とし、仮囲い等も設置して、粉じんが飛散しにくいよう配慮します。

Q 11. 残コンや土壌汚染への対応はどうなりますか。

A 11. 残コンは現場内で固化させた上で、産業廃棄物として処分します。土壌汚染についても法令の範囲内で適切に対応します。

Q 12. ごみ置場はどうなるのでしょうか。

A 12. 一時的に移動をお願いする可能性があります。その場合は、別途ご相談させていただきます。

(3) 工事に伴う掘削や排水計画について

Q 13. 掘削工事によって地盤沈下や周辺住宅への影響はないのでしょうか。

A 13. 建物予定地全体を、おおむね 1.5 メートル程度掘り込む基礎を考えています。

この程度の掘削であれば、近隣建物への影響は基本的にないと考えています。

また、地下水が出た場合にも影響が出ないよう計画しています。

Q 14. 完成後の排水はどのように処理されるのでしょうか。西側の水路への影響が心配です。

A 14. 敷地内の雨水は、敷地内で集めて雨水枡に集水し、排水する計画です。排水経路を確認した上で、十分配慮して対応します。

(4) 交通安全対策について

Q 1 5. A の横の交差点は事故が多いため、安全対策は講じられるのでしょうか。

A 1 5. 市や警察との調整が必要になりますが、カーブミラー等の安全対策を進めていきます。

Q 1 6. A の土地は完成後も使われるのでしょうか。また、北西角からの出入りはなくなるのでしょうか。

A 1 6. 利用者については B の駐車場を使うことで、A を使わずに運営できる見通しです。

A については職員や業者の利用を考えています。

北西角からの出入りは、できるだけ減らす方向で考えています。

Q 1 7. 工事期間中に A の土地は使われるのでしょうか。

A 1 7. 基本的に A は使わない予定です。

Q 1 8. 完成後は B の駐車場から直接園に入る形になるのでしょうか。また、駐車台数は十分確保できるのでしょうか。

A 1 8. 接続できるのであれば、B から直接園に入る動線を考えています。

駐車台数は、現在 A で想定していた 25 台程度を基本に考えていますが、できるだけ多く確保したいと考えています。

Q 1 9. 送迎時の交通量や道路上での滞留への対策はどのように考えていますか。

A 1 9. まだ計画段階ですが、B の駐車場が園庭と接続できる点はメリットだと考えています。

駐車台数が不足する場合には、一部を園庭内で処理することも含めて検討し、交通安全上の問題が生じないように対応を考えていきます。

Q 2 0. 昨年、市内のこども園で起きた事故はどのような内容でしたか。

A 2 0. 園駐車場で給食食材を搬入していた業者車両が、バックする際に園児を巻き込んでしまった事故がありました。

Q 2 1. B の土地はまだ契約前とのことですが、今後どのように進めるのでしょうか。

A 2 1. 土地所有者の方には、安全対策のためであれば協力するとのことをご承諾をいただいています。

契約時期については、現時点で明確に申し上げることは難しい状況です。

(5) 整備運営事業者の選定等について

Q 2 2. 事業者はどのように選ばれたのでしょうか。

A 2 2. 公募の結果、応募は1社でした。

専門的な知見や先駆的な取組があり、京田辺市の保育・教育の底上げにつながると判断しました。

Q 2 3. 土地交渉の経過などに関する記録は公表されるのでしょうか。

A 2 3. 手続きをしていただければ、一定公表は可能と考えています。

(6) 計画の進め方について

Q 2 4. 説明が十分でないまま進められてきたように感じます。

A 2 4. 進め方について至らない点があったことは反省しています。

一方で、草内地区にこども園が必要であり、保育ニーズへの対応が必要であることは変わらないと考えています。

Q 2 5. なぜ住民への説明が遅れたのでしょうか。また、今後はどう改善するのでしょうか。

A 2 5. 用地取得後、造成工事に入りましたが、その段階でお知らせすべきだったと反省しています。

今後は、住民の皆様へ情報をお知らせし、ご意見を伺う流れを大切にしていきたいと思います。

Q 2 6. 課題が解決しない間は、工事を止めることはできないのでしょうか。

A 2 6. ご意見は重く受け止めています。市全体のプロジェクトとして、現時点で止めることは困難です。

最大限できることを行った上で進めていきたいと考えています。

(7) 今後について

Q 2 7. 今回参加できなかった近隣住民への周知や、説明会の内容の共有は行われますか。

A 2 7. 自治会を通じたお知らせ等も含め、改めて周知方法を検討します。

また、説明会の内容についても、何らかの形でお知らせできるよう進めていきます。

Q 2 8. 今後、改めて話し合いの機会は設けられるのでしょうか。

A 2 8. 改めて説明と話し合いの場を設定したいと考えています。

Q 2 9. 自治会からの要望書には書面で回答があるのでしょうか。

A 2 9. 2月末頃を目途に書面で回答したいと考えています。